

事業の内容が分かる写真含む内容の詳細です



第1回め



子どもどるダンス部

2024年9月21日 22:30

...

7/28(日) 武蔵野中央公園北ホール 10:30~12:00

講師:城俊彦さん アシスタント:マーシーさん

参加者15名

仲の良いチーム、顔見知り、そうでない人...まだ緊張感も漂う空間を、大きな挨拶の声が通る。

「おはようございます!!」そのままみんなで城さん(以下、呼び名のジョコピー)の動きをまねっこ。言葉・声を使った動きが身体を内側からほぐしていく。いつの間にか楽しそうに全身を動かしてる子どもたち。のびのび大きな声も出る。その流れでひとりひとりの名前を小さなダンスにするジョコピー。自分の名前が自分から飛び出して、ダンスになっている不思議。

計8回分のワークショップの内容も「子どもどるダンス部」noteにて^{一般}公開しています。



「さて。今日みんなはダンスしにきた。音楽を使って身体を動かしていきますよ。」とジョコピー。『ドレミの歌』しあわせなら手をたたこう『ブラブラ星人』などなど。知ってる曲、知らない曲で一気に数曲！シンプルで楽しい振り付けをまねっこ。みんな夢中になってジョコピーについていく。振り付けの中に、ちょこっとキープ、ちょこっとチャレンジが入っていて、身体運動の色々な要素が入っている。みんないつの間にかダンスの身体になっていく。

<小さな休憩>

大人と子どもが縦1列に並んで大人が身体でトンネルをつくる。

その穴を子どもたちが通るミッション！1列で順番に穴を潜る。身体を捻りひねり工夫して穴から脱出していく。



次は子どもたちの番。ひとりひとりが輪を創作。その小さな輪の中を大人が通る。大きな身体をむぎゅむぎゅと押し込み、にゅる〜と出てくるのがおもしろい。そして再び、音楽に合わせて、ジョコピーとまねっこダンス！ジョコピーからの指示や説明はほとんどない。「次は何をやるんだろう」というワクワクがこちらにも伝わってくる。気づけばみんなまねっこではなく、少しずつ自分のダンスが踊れるようになっている。ジョコピーの振り付けの中に余白があって、その小さな自由時間の中で創造している。

<休憩>円になる。

「今日やった色々を使って自由に踊ってみたい人！」とジョコピー。はいっ！とすぐに手が上がる！最初の人
のダンスを見ると、次々に踊り出る人たち。すぐに輪が崩れ、出ていくのに抵抗があった人も自分のタイミン
グで動き始める。「誰かのまねしてもいいよ」と言うジョコピー。“無理をしないでいい”という安心感の中、
それぞれの即興ダンスが連なっていく。



次はみんなで同時に、自由に踊ってみることに。「どこからスタートする？」とジョコピー。ひとりひとり、始まる場所を自分で決める。仏像になる人。得意技をやり続けるひと。"何もやらない"をやるひともいた。それぞれの安心するスタイルでそこに居る。それが可能な空間ができあがっていた。「無理をしない」が適ってる。もっと自由だったのは、この後の時間。わーっと1曲踊ったらクールダウン。ごろりと寝る。それ以外何も指示はなかったけれど、こここそ踊りたい人がいた！**自分から溢れ出てくるリズムが止まらないという風に踊り続ける。**見ていた大人たちもそれ邪魔せんと固唾を呑んで見守る。それを見てむくりと起きて歩き出す人、座ったり移動したり自分の好きな体勢を探す人。始まりから終わりにかけジョコピーとみんなで作り出した自由に、安心して身を投げ出していた時間だった。最後は大きな声。みんなでみんなに、「ありがとうございましたー！」

レポート・写真 篠崎芽美